

レバー式検出スイッチ SW□AB-252 / -253 / -254 / -258 シリーズ

■特長

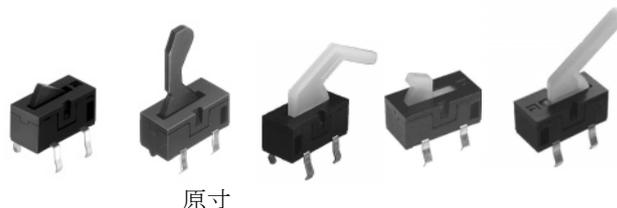
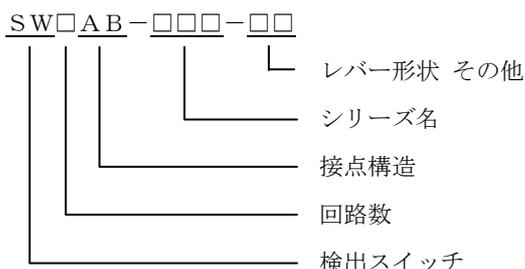
- 小形で省スペース。
- 独自の摺動接点の採用により、微小電流に対する信頼性を向上。
- 複数の動作方向が可能。
- レバーの種類が豊富で、各種取付本体と組合せ自在。



■用途

- DVD、CD-ROM、オーディオ、VTR などのメカ検出

■品番体系



■製品一覧

No	製品番号	回路数	接点数	作動力	備考
1	SW1AB-252S	1	1	0.4N max	2方向動作可能。
2	SW1AB-252-3S	1	1	0.3N max	
3	SW1AB-252-4S	1	1	0.35N max	
4	SW1AB-252-8S	1	1	0.35N max	3方向動作可能。
5	SW1AB-252-9S	1	1	0.4N max	2方向動作可能。
6	SW1AB-252-12S	1	1	0.4N max	2方向動作可能。
7	SW1AB-252-13S	1	1	0.25N max	2方向動作可能。
8	SW1AB-253-9	1	1	0.4N max	2方向動作可能。
9	SW2AB-254-9A	2	1	0.4N max	2方向動作可能。
10	SW1AB-258-9	1	1	0.4N max	2方向動作可能。

注…上記 1～7 は、レバー形状のバリエーション。(取付本体形状は一例)

上記 8～10 は、取付本体形状のバリエーション。(レバー形状は一例)

■主な仕様

項目	仕様
定格	0.5～10mA 5V DC (抵抗負荷)
接触抵抗	1Ω max
絶縁抵抗	100MΩ min. 100V DC
耐電圧	100V AC for 1min
負荷寿命	100,000 cycles

■外形図

単位 : mm

No	形状	P.C.B 取付穴参考図・回路構成図 (TOP VIEW)
1	<p>SW1AB-252S</p> <p>レバー形状のバリエーション</p>	<p>t = 1.6 mm</p>
2	<p>SW1AB-252-3S</p> <p>レバー形状のバリエーション</p>	<p>t = 1.6 mm</p>
3	<p>SW1AB-252-4S</p> <p>レバー形状のバリエーション</p>	<p>t = 1.6 mm</p>

■外形図

単位 : mm

No	形状	P.C.B取付穴参考図・回路構成図 (TOP VIEW)
4	<p>SW1AB-252-8S</p> <p>レバー形状のバリエーション</p>	<p>t = 1.6mm</p>
5	<p>SW1AB-252-9S</p> <p>レバー形状のバリエーション</p>	<p>t = 1.6mm</p>
6	<p>SW1AB-252-12S</p> <p>レバー形状のバリエーション</p>	<p>t = 1.6mm</p>

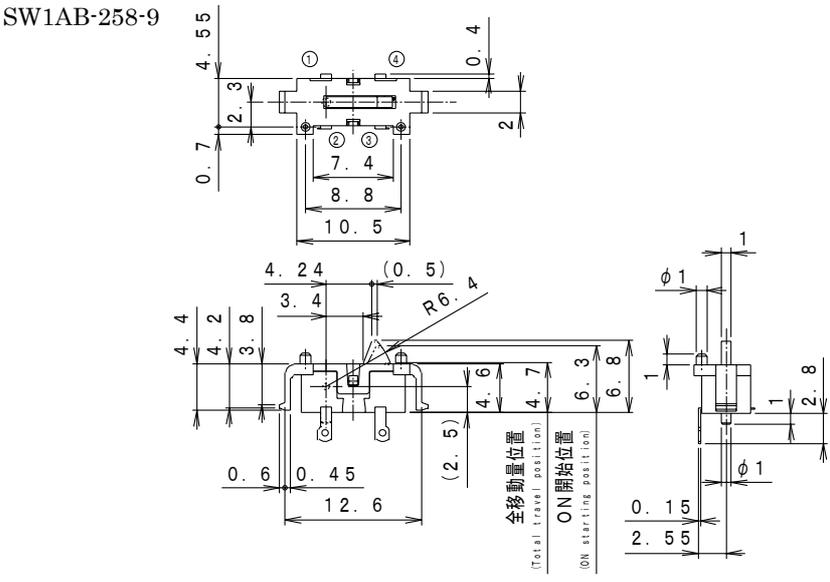
■外形図

単位 : mm

No	形状	P.C.B 取付穴参考図・回路構成図 (TOP VIEW)
7	<p>SW1AB-252-13S</p> <p>レバー形状のバリエーション</p>	<p>t = 1.6mm</p>
8	<p>SW1AB-253-9</p> <p>取付本体のバリエーション</p>	<p>t = 1.6mm</p>
9	<p>SW2AB-254-9A</p> <p>取付本体のバリエーション</p>	<p>t = 1.6mm</p> <p>ノブ 1 (Knob 1)</p>

■外形図

単位 : mm

No	形状	P.C.B 取付穴参考図・回路構成図 (TOP VIEW)
10	<p>SW1AB-258-9</p>  <p>取付本体のバリエーション</p>	

■注記

1. 製品改良などにより外観および記載事項の一部を予告なく変更する場合があります。
2. 当カタログは概略仕様です。ご使用に当たっては正式納入仕様書の取り交わしをお願い致します。
3. 別紙に掲載の『スイッチの使用上の注意』をご確認をお願いします。
4. 本スイッチは、洗浄タイプではありませんので洗浄は行わないでください。
5. 半田付けは、操作部（レバー）を自由位置で実施し フラックスは樹脂部に付着させないで下さい。
6. 半田付けの際 端子に荷重が加わりますと、条件により 変形 その他 性能劣化の恐れがありますので、御注意下さい。
7. 手付け半田を行う場合、半田コテは端子先端にあて 端子に異常加圧の無い様御配慮下さい。
8. 回路設計及びソフト設計時には、下記 その他の チャタリング バウンス に対するの配慮をお願いします。
 複数回の読み込みをする (EX: 5ms 間隔 5回で判定)
 ディレイタイムを設定する
 CR積分回路を設置する
9. スレッシュ電圧の設定は、センターをお勧めします。
10. スwitchの本体部分に荷重が加わりますと 動作に影響する恐れがありますので、御配慮下さい。
11. 御使用に際しては、信頼性を高める為 実使用条件での御確認をお願いします。